



特別企画展  
中世の人と美術  
8月21日(金)→10月4日(日)



重要文化財／誉田宗廟縁起絵巻 下巻(部分) 室町時代 誉田八幡宮蔵

入館料 一般 620円 高校・大学生 410円 小学・中学生 無料

開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)

休館日／毎週月曜日(ただし、9月21日(祝)は開館し、24日(木)が休館)

後援／東京大学史料編纂所・奈良県教育委員会・奈良市教育委員会

※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料 ※身障者手帳等ご提示により本人と同伴者1名2割引

シンポジウム 9月20日(日) 午後1時・講堂

「文化財を守り、未来へ伝えるために－「中院一品記」修理事業から－」

基調講演／福岡大学大学院人文科学研究科 教授 森 茂暁氏

報告・ディスカッション／東京大学史料編纂所所員ほか

特別講演 9月27日(日) 午後2時・講堂

「聖者の群像、靈地の形象－「誉田宗廟縁起絵巻」「石山寺縁起絵巻」を読み解く－」

東京大学大学院人文社会系研究科 准教授 高岸 輝氏

日曜美術講座 8月30日(日) 午後2時・講堂

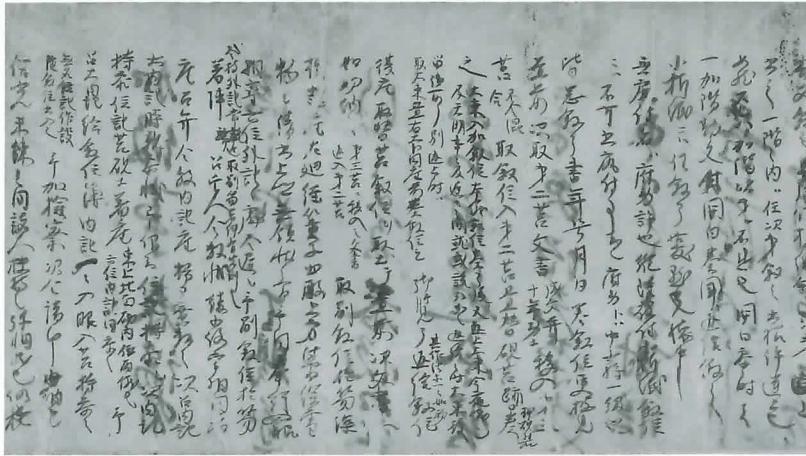
「中院通冬が生きた時代の美術－14世紀美術の一側面－」当館学芸員 古川撮一

講座 美術の窓 9月13日(日) 午後2時・講堂「江戸の千社札」当館館長 浅野秀剛

列品解説 毎週土曜日 午後2時から当館学芸部による

華コンサート 8月29日(土) 午後1時・講堂 アンサンブル郷(弦楽アンサンブル) ※要整理券

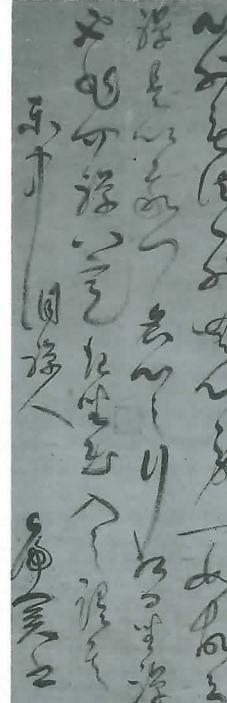
大和文華館



# 特別企画展 中世の人と美術

日本の中世は、社会体制や権力構造が大きく転換し、美術を生み出す人々の層が大きく広がりました。絵画に落款が認められ、描いた人物の名前が明らかにされたり、公文書にはサインである花押が用いられるなど、個性や個人に目が向き、意識された時代でもあります。天皇や公家のみならず、武士や僧侶にも個性あふれる様々な人物が活躍します。

展覧会ではこうした中世を生きた人々に注目し、日記や消息、僧侶の肖像、墨蹟、祖師絵伝、社寺縁起などを展示いたします。中でも、南北朝時代に活躍した中院通冬(1315~1363)の自筆日記である「中院一品記」の断簡が、同時代の公家である洞院公賢(1291~1360)の自筆書状の紙背として当館に所蔵されます。日記の大部分は東京大学史料編纂所に所蔵され、このたび修理が行われたのを機に、当館所蔵断簡との接続部分を特別に展示いたします。また、公賢が石山寺座主・益守とともに企画した「石山寺縁起絵巻」のうち第五巻と、同巻と同じ絵師が描いたとされ、室町幕府八代將軍足利義教によって奉納された「誉田宗廟縁起絵巻」下巻も特別出陳されます。激動の中世を生きた人々の美意識とまなざしをお楽しみ下さい。



重要文化財／墨蹟法語 虎関師鍊筆  
南北朝時代 大和文華館蔵



足利尊氏自筆御神号 南北朝時代  
大和文華館蔵



一休宗純像 伝曾我蛇足筆 室町時代  
大和文華館蔵

## 出陳品 約50件 (◎=重要文化財、○=重要美術品)

祖師へのまなざし	◎誉田宗廟縁起絵巻 下巻 室町時代 誉田八幡宮蔵 ◎維摩居士像 文清筆 室町時代 大和文華館蔵 ◎龍湫周澤像 室町時代 大和文華館蔵
霊地へのまなざし	◎笠置曼荼羅図 鎌倉時代 大和文華館蔵 ◎柿本宮曼荼羅図 鎌倉時代 大和文華館蔵 ◎石山寺縁起絵巻 卷第五 南北朝-室町時代 石山寺蔵
自然へのまなざし	◎竹雀図 可翁筆 南北朝時代 大和文華館蔵 ◎松雪山房図 室町時代 大和文華館蔵 ◎松梅佳絵図 室町時代 大和文華館蔵
当世へのまなざし	中院一品記 南北朝時代 東京大学史料編纂所蔵 中院一品記断簡 南北朝時代 京都大学総合博物館蔵 中院通冬記 江戸時代 京都大学附属図書館蔵 中院通冬記裏書文書 江戸時代 京都大学附属図書館蔵など



近鉄奈良線学園前駅下車、  
南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり

大和文華館

TEL 0742-45-0544 FAX (0742) 49-2929

ホームページ: <http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/index.html>